

平成 20 年度 履修登録について（各学年共通事項）

商 学 部

履修登録は、本年度において履修する授業科目および受験に関する最も重要な手続ですので、『H A N D B O O K（大学要覧）』の「授業科目の選択と履修届」「商学部の卒業所要単位」を熟読のうえ正確に登録し、次の要領で手続を完了してください。

- 1 提出登録期間に遅れた場合は、理由の如何を問わず登録できません。
- 2 W e b により履修の登録がない場合は、本年度の受講は認められません。

W e b 履修登録説明会

区 分	日 時	場 所
2008 年度新入生	4 月 3 日(木) 14 : 30 ~	B I G ホール 1 0 0

W e b 履修登録 3 月 27 日（木）は、メンテナンスのため、終日 W e b システムへのアクセスは出来ません。

区 分	日 時	場 所
新 2 年次	3 月 15 日(土) ~ 26 日(水) 9 : 00 ~ 22 : 00 〔ただし、24 日・25 日は不可〕	自宅もしくは大学
新 3 年次	3 月 15 日(土) ~ 25 日(火) 9 : 00 ~ 22 : 00 〔ただし、24 日は不可〕	
新 4 年次	3 月 15 日(土) ~ 24 日(月) 9 : 00 ~ 22 : 00	

W e b 履修変更 W e b 履修変更は正規登録期間中の登録内容からの変更です。

区 分	日 時	場 所
全学年	4 月 6 日(日) ~ 11 日(金) 9 : 00 ~ 22 : 00	自宅もしくは大学

以後、変更はできません。「登録中」であっても、登録締切となります。

履修登録に関する注意事項

- 1 各年次の履修制限単位は次のとおりです。
通年科目を履修する場合は、その 2 分の 1 の単位数を春・秋学期それぞれの履修単位に算入して計算してください。

《2008 年度入学生》

新 1 年次 ~ 新 3 年次	各学期とも 2 3 単位以内、年間 4 2 単位
新 4 年次	各学期とも 2 6 単位以内、年間 5 0 単位

《2007 年度入学生・デイトタイムコース・第 1 部》

新 1 年次	各学期とも 2 3 単位以内、年間 4 2 単位
新 2 年次	各学期とも 2 3 単位以内、年間 4 2 単位
新 3 年次	各学期とも 2 4 単位以内、年間 4 6 単位
新 4 年次	各学期とも 2 6 単位以内、年間 5 0 単位（2001 年度以前入学生は年間 50 単位）

《フレックスコース》

2 年次 ~ 4 年次	各学期とも 2 4 単位以内、年間 4 8 単位
-------------	--------------------------

保健体育科目を履修する場合のみ、「各学期における履修制限単位を 2 5 単位以内、年間 4 8 単位」とすることが出来ます。

- 原則として、上位年次の配当科目は履修することができません。
- 履修登録していない科目を受験した場合は、無効です。また、一度修得した科目は再度履修できません。
- 4年次においては、原則として各学期に最低2単位履修しなければなりません。
- 外国語科目など科目によっては、受講クラスが指定されています。指定されたクラス以外での履修は無効となりますので、クラス指定がされている科目は、指定されたクラス（履修登録画面参照）で登録してください。また、受講許可を必要とする外国語科目の履修については、事前に所定の手続きを経て許可された者に限ります。
- デタイムコース学生のフレックスコース時間帯（第6・7時限目）およびフレックスコース学生のデタイムコース時間帯（第1～5時限目）における商学部配当科目の履修の取り扱いについては、『HAND BOOK（大学要覧）』を参照のうえ、履修登録画面の設定に従ってください。（一部相互に履修できない科目があります。）
- 専門教育科目のうち、科目名の後ろに（カッコ）で「テーマ」を付した科目は、1授業科目について2テーマ4単位までを卒業所要単位に含めることができます。例えば、各コース（専修）における「特殊講義」は、各コース（専修）においてそれぞれ2科目ずつしか卒業所要単位に含められません。仮に、「経営学特殊講義」を3科目6単位修得しても、そのうち4単位分しか卒業所要単位に含められないので、十分に注意してください。

秋学期履修変更について

春学期の成績発表を受けて、以下のとおり、履修変更（科目の変更・追加・削除）を履修制限の範囲内で認めます。ただし、人数制限を設けている科目（抽選対象科目等）およびクラス指定科目（外国語、保健体育科目、演習科目等）を除きます。なお、2001年度以前入学生は、後期開講科目のみ、追加・削除を認めます。

〔履修変更期間〕：9月下旬予定（後日、インフォメーションシステムの「お知らせ」にて周知します。）

許可制科目の履修について

許可制科目を履修する場合は、以下のとおり手続きが必要です。科目によって申し込み日時が異なりますので注意してください。

《新1年次生対象》

科 目 名	申 込 日 時	場 所	定 員
英語、ドイツ語・、フランス語・、 中国語・のコミュニケーションクラス	入学手続き時に受付済（許可者のみ履修可能）		
情報処理基礎演習	4月2日（水）14：30	Web上の「抽選登録・確認等」から抽選 申込してください。	400名
情報処理応用演習			240名
初級ビジネス実用英語A			300名
初級ビジネス実用英語B			300名

《新2～4年次生対象》 Web上の「抽選登録・確認等」から抽選申込してください。

申込日時：3月15日（土）～17（月）9：00～22：00

許可発表：3月19日（水）9：00～ インフォメーションにて

許可科目のみWeb上の「履修登録」画面上にプリセット（事前登録表示）します。

専門教育科目 「データ・マイニング論」「実用英語」「実用英語」「実用英語」「実用英語」

「情報処理基礎演習」「情報処理応用演習」

自由科目 「イングリッシュ・メディア・ラボ a」「イングリッシュ・メディア・ラボ b」 修得しても卒業所要単位に含まれません

自由科目（資格関係科目） 「情報検索演習」「資料組織演習（二）」「情報メディアの活用」

「総合演習（総合演習・人権教育）」

あらかじめ Web 上でクラスを指定されている科目（外国語・「専門演習」等）を確認してから申し込んでください。受講を許可された者は、取消・変更ができませんので注意してください。
許可発表後、後日、追加募集を行う場合があります。インフォメーションシステムでお知らせいたします。

その他の定員制科目

科目区分	科目名	抽選対象	クラス数	募集人数	備考
全学共通	スタディスキルを身につける	2008 年度入学生	40	各 24	法学部除く
全学共通	文章力をみがく	2008 年度入学生	20	各 24	法学部除く
全学共通	論理的に考える	2008 年度入学生	20	各 50	法学部除く
全学共通	笑いの総合科学(吉本興業寄附講座)	2008 年度入学生	1	400	
教 養	笑いの総合科学(吉本興業寄附講座)	2007 年度以前入学生		300	
保健体育	スポーツ研究実習	2007 年度以前入学生	41	各 45	
保健体育	スポーツ研究理論(かわり学びの実践学) *他のクラスについては通常登録	2007 年度以前入学生	1	40	文学部除く
保健体育	応用体育学	2007 年度以前入学生	8	各 40	
保健体育	応用体育学	2007 年度以前入学生	8	各 40	
保健体育	スポーツ研究フィールドワーク	2007 年度以前入学生	16	各 40	

「ビジネス特殊研究(市場導入のケース分析)」「第3類 共通分野」について

平成20年度 夏期集中授業(7月初旬の1週間程度)として標記科目を開講します。イノベーション分野で世界ランキング第11位という著名なマーク・パリー教授が、新製品の導入に関するケース・スタディの講義をします。講義はすべて英語で行なわれることから、受講者には相当レベルの英語力が要求されますので、履修希望者に対して英語能力の確認を予定しています。

履修希望者は、WEB シラバスを確認のうえ、履修登録期間内に別途教務センターまでお申し出ください。

保健体育科目の履修について

保健体育科目の履修については、科目ごとおよび入学年度ごとに以下のとおりの手順で履修してください。

04 年度～07 年度入学生対象

- ・スポーツ研究実習、応用体育学 ・ およびスポーツ研究フィールドワーク
WEB により抽選登録を行ってください。【抽選登録日 3 月 15 日(土)～17 日(月)】
3 月 19 日(水)に WEB の個人の時間割上に発表しますので、許可されたクラスで履修登録を行ってください。
- ・スポーツ研究理論
抽選等はありませんので、WEB により履修登録を行ってください。
- ・基礎体育学 ・
3 月 15 日(土)もしくは 17 日(月)の両日とも 10 時～15 時まで中央体育館の窓口で登録の受付を行います。
3 月 19 日(水)に WEB の個人の時間割上に発表しますので、許可されたクラスで履修登録を行ってください。

03 年度以前入学生対象

- ・基礎体育学 ・ 、スポーツ研究 およびスポーツ研究b
3 月 15 日(土)もしくは 17 日(月)の両日とも 10 時～15 時まで中央体育館の窓口で登録の受付を行います。
3 月 19 日(水)に WEB の個人の時間割上に発表しますので、許可されたクラスで履修登録を行ってください。
- ・応用体育学 ・ およびスポーツ研究フィールドワーク
WEB により抽選登録を行ってください。【抽選登録日 3 月 15 日(土)～17 日(月)】
3 月 19 日(水)に WEB の個人の時間割上に発表しますので、許可されたクラスで履修登録を行ってください。
- ・スポーツ研究理論
抽選等はありませんので、WEB により履修登録を行ってください。

卒業所要単位について

詳細については、『HAND BOOK (大学要覧)』の「商学部の卒業所要単位」を参照してください。

(2008 年度入学生)

- (1) 全学共通科目 (20 単位)
- (2) 外国語科目 (16 単位)
- (3) 専門教育科目 (92 単位)

次の要件にしたがって 92 単位以上を修得しなければなりません。

- ア 第 1 類 入門科目(必修科目).....12 単位
- イ 第 2 類 共通科目(選択科目).....26 単位以上
- ウ 第 3 類 応用科目(選択科目).....30 単位以上
- エ 第 4 類 演習科目(選択科目).....14 単位まで卒業所要単位への算入可
- オ 第 5 類 実践科目(選択科目).....14 単位まで卒業所要単位への算入可
- カ 第 6 類 産学連携科目(選択科目)... 6 単位まで卒業所要単位への算入可
- キ 自由科目卒業所要単位に含めません

分 類		内 容
必修科目	第1類	「基礎演習」「流通入門」「経済入門」「ビジネス英語入門」「経営入門」「簿記入門演習」 合計 12 単位
選択科目	第2類	商学基礎分野から 10 単位以上、その他の分野から各 4 単位以上を含めて、合計 26 単位以上を修得しなければなりません。
	第3類	所属する専修から 20 単位以上を含めて、合計 30 単位以上を修得しなければなりません。
	第4類	14 単位まで卒業所要単位として算入できます。
	第5類	14 単位まで卒業所要単位として算入できます。 第 5 類の各科目は履修制限単位には含まれず、年間 16 単位まで履修することができます。
	第6類	6 単位まで卒業所要単位として算入できます。
合計		92 単位

専修の選択方法 (3 年次・4 年次)

「専門演習」を履修する場合
 受講許可になった演習担任者の所属する専修をもって、自己の専修とします。
 「専門演習」を履修しない場合
 3 年次履修登録時に一つの専修を選択してください。翌年に所属専修を変更することも可能ですが、卒業要件を満たし得るかどうかに注意してください。

(2007 年度入学生) (デイトタイムコース)

デイトタイムコースに 4 年〔8 学期〕以上 (8 年〔16 学期〕以内) 在学し、132 単位以上を修得した者に卒業を認め、卒業者には学士 (商学) の学位が与えられます。132 単位の内容は、次のとおりです。

- (1) 教養科目 (18 単位以上)
- (2) 外国語科目 (16 単位)
- (3) 保健体育科目 (4 単位) (2004 年度以降入学生は選択科目)
 2004 年度以降入学生は (1) + (3) で 24 単位以上修得しなければなりません。
- (4) 専門教育科目 (92 単位)

次の要件にしたがって 92 単位以上を修得しなければなりません。

- ア 必修科目 (2 単位)
- イ 選択科目第 1 類 (12 単位)
- ウ 選択科目第 2 類 (70 単位)

エ 選択科目第3類(8単位)

オ プログラム科目(卒業所要単位に含めません)

2005年度以降入学生は、一部卒業所要単位に含めることができます。

カ 自由科目(卒業所要単位に含めません)

		演習選択方式		総合選択方式(演習を履修しない場合)	
		(演習を履修する場合)		副専攻	自由専攻
必修科目		基 礎 演 習 2 単位			
選 択 科 目	第1類	必修	経済入門 2 単位、 現代経営 2 単位、 簿記演習 2 単位		
		選択	6 単位以上 6 単位を超過した単位は、 第2類の各々のコースの単位に算入されます。		
	第2類	専門演習、卒業研究、研究論文の計 12 単位 および所属するコースから24単位以上 所属外各コースから各8単位以上を含め 32 単位以上 かつ、 + = 計 70 単位以上となるように修得 しなければなりません。 演習選択方式の場合2年次配当「演 習」(2 単位)を修得していることが望ま しい。		副専攻に関する科目一覧から1 4 単位以上 所属するコースから24単位以上 所属外各コースから各8単位以上を 含め 32 単位以上	所属するコースから2 4 単位以上 所属外各コースから各8単位以上を含め 32 単位以上 かつ、 + = 計 70 単位以上となるように修 得しなければなりません。
		第3類	法律分野4単位を含めて計8単位を修得しなければなりません。		
合計		92 単位			

コースの選択の方法(3年次・4年次)

演習選択方式(専門演習を履修する場合)

受講許可になった演習担任者の所属するコースをもって、自己のコースとします。

総合選択方式(専門演習を履修しない場合)

3年次履修登録時にコースを選択してください。翌年に所属コースを変更することも可能ですが、卒業要件を満たし得るかどうかにご注意してください。

(フレックスコース)

フレックスコースに4年〔8学期〕以上(8年〔16学期〕以内)在学し、124単位以上を修得した者に卒業を認め、卒業生には学士(商学)の学位が与えられます。124単位の内容は、次のとおりです。

(1) 教養科目 (20単位以上)

(2) 外国語科目(8単位以上)

(3) 保健体育科目(選択科目)

(1) + (2) + (3)で36単位以上修得しなければなりません。

(4) 専門教育科目(88単位)

次の要件にしたがって88単位以上を修得しなければなりません。

ア 必修科目(2単位)

イ 選択科目第1類(8単位)

ウ 選択科目第2類(28単位)

ア + イ + ウで46単位以上修得しなければなりません。

エ 選択科目第3類、プログラム科目、自由科目および教授会が定めた他学部開講専門教育科目は合計42単位まで卒業所要単位として算入できます。ただし、自由科目のうち、「インターンシップ(ビジネス)」「インターンシップ(学校)」「イングリッシュ・メディア・ラボ a」「イングリッシュ・メディア・ラボ b」「教育実習(一)」および「教育実習(二)」は除きます。

(第1部(2002年度以前入学生))

商学部に4年〔8学期〕以上(8年〔16学期〕以内)在学し、132単位以上を修得した者に卒業を認め、卒業生には学士(商学)の学位が与えられます。132単位の内容は、次のとおりです。

- (1) 教養科目 (20 単位)
- (2) 外国語科目 (16 単位)
- (3) 保健体育科目 (4 単位)
- (4) 専門教育科目 (92 単位)

次の要件にしたがって 92 単位以上を修得しなければなりません。

- ア 必修科目 (4 単位)
- イ 選択科目第 1 類 (12 単位)
- ウ 選択科目第 2 類 (68 単位)
- エ 選択科目第 3 類 (8 単位)
- オ 自由科目 (卒業所要単位に含めません)

		演習を履修する場合	演習を履修しない場合
必修科目		基 礎 演 習 4 単位	
選 択 科 目	第 1 類	商学総論、経済原論、国際ビジネス英語、経営学総論および簿記 のうちから 3 科目 12 単位を修得しなければなりません。 なお、第 1 類で 12 単位を超過した単位は、第 2 類の各々のコースの単位に算入されます。	
	第 2 類	演習、演習、研究論文の各 4 単位を含め所属するコースから 36 単位以上、さらに所属外各コースから各 8 単位以上を含め 32 単位以上、計 68 単位以上を修得しなければなりません。	所属するコースから 32 単位以上および所属外各コースから各 8 単位以上を含め 36 単位以上、計 68 単位以上を修得しなければなりません。
	第 3 類	法律分野 4 単位を含めて計 8 単位を修得しなければなりません。	
合計		92 単位	

コースの選択の方法 (3 年次・4 年次)

演習を履修する場合

受講許可になった演習担任者の所属するコースをもって、自己のコースとします。

演習を履修しない場合

3 年次履修登録時にコースを選択してください。翌年に所属コースを変更することも可能ですが、卒業要件を満たし得るか注意してください。

教員免許・各種資格取得のための自由科目および他学部配当科目の履修について

- 1 自由科目および他学部配当科目の単位は卒業所要単位に算入することはできません。(フレックスコースを除く)
- 2 自由科目および他学部配当科目を履修する場合は、履修制限単位外で毎年度 30 単位(「海外研修(各セミナー) 2 単位、「海外語学実習」2 単位、「インターンシップ(ビジネス)」2 単位、「インターンシップ(学校)」2 単位、「ビジネス実習」2 単位、「教育実習(一)」2 単位、「教育実習(二)」3 単位、「イングリッシュ・メディア・ラボ a、b」各 1 単位は含まない)まで履修することができます。
- 3 各種資格取得に必要な他学部配当科目を履修する場合は、教職科目一覧表を参照し、履修を希望する他学部開講科目を各自、Web 履修システムにより、登録してください。
- 4 教職課程に関する連絡は、すべてインフォメーションシステムにより行います。各種ガイダンスの実施日程等については、各自で必ず確認してください。

新 2 年次生で教職課程の履修を希望する場合、3 月 17 日(月) 11:00 <第 2 学舎 A501 教室> 「新 2 年次生対象：教職課程ガイダンス」に出席してください。また、教員免許・各種資格取得希望者は、出納課分室・教務センターにて頒布する「教職課程履修の手引き」を参照して、計画的に履修・修得を進めてください。

プログラム科目の履修について

プログラム科目には、次の2プログラムが開設されています。

(1) 会計特別プログラム (ASP) (2005年度以降入学生対象)

会計専門職大学院(アカウンティングスクール)への進学促進と進学事前準備を目的として、デイトムコース時間帯に設置しています。詳細については、『HAND BOOK(大学要覧)』を参照してください。(履修にあたっては、特に申し出る必要はありません。履修登録画面から各自登録可能です。)

(2) アカウンティング・プロフェッショナルズ・プログラム (APP)

公認会計士になるために必要な実務知識や理論、高度な専門知識を身につけることを目的とした、少人数の演習形式で行う科目で、フレックスコース時間帯に設置しています。

なお、このプログラム科目は、公認会計士試験受験にむけての具体的対策を短期間で体系的・効率的に身につけることを目的としています。

履修にあたっては、履修登録期間中に教務センターへ願い出を提出し、学部が許可した場合にのみ履修が可能です。その際、選抜試験等を行う場合があります。

「大学コンソーシアム大阪」単位互換科目の履修について

下記の要領でガイダンスを実施しますので、履修希望者は参加してください。

日 時：平成20年3月28日(金)13時～

場 所：第2学舎1号館5階A502教室

出願受付：〔第1次〕

3月28日(金)ガイダンス終了時から16時まで

3月29日(土)10時～16時

〔第2次〕

4月7日(月)10時～16時

* 提出場所は、いずれも教務センター(第2学舎1号館1階)

* 出願書類は、ガイダンス時および教務センターで配布します。

注意事項：

- 1 オンキャンパス科目(科目開設大学のキャンパスで受講)によっては、第2次受付時において出願をすでに締め切っている場合がありますので、できるかぎりガイダンスに出席の上、第1次日程で出願するようにしてください。
- 2 センター科目「大阪学」は先着順に受付し、履修が許可されます。

学校インターンシップについて

2008年度の「学校インターンシップ」に関する各種行事(募集説明会・事前講座・内定者オリエンテーション・事後報告会)は、水曜日の5時限目に実施します。「学校インターンシップ」を希望する人は、時間割登録の際、その時間を空けておくようにしてください。

行事日程については、インフォメーション・システム等でよく確認すること。

- ・4年次生は、卒業見込判定に特に注意してください。
- ・登録コースによりどの科目が卒業に必要なか再度確認のうえ、履修登録を完了してください。例年、卒業所要単位に満たずに残留決定になる場合が見られます。
- ・卒業要件については、『HAND BOOK(大学要覧)』の「商学部の卒業所要単位について」を参照してください。また、教務センターでは、履修登録についての質問・相談に随時対応していますので、不明な点がある場合は、直接来室してください。